

私はふとしたことでこの運動を知り、昨年八月の意見広告に参加しました。その後送って頂いた報告書のなかに「ボランティアを求めています。昼間数時間でもけっこうです」とあったのを読んで私にもできるかしらと申し込みました。私はパートの仕事を持っていきますので木曜日しか時間がありません。

昨年十月のある木曜日、送って頂いた地図を頼りに事務局に出掛けていきました。どんな部屋でどんな方たちがいるのかしら、何か審査されるのではとドキドキしながら、「軍事空港は知らない アカコッコの島 三宅島」という島のマークのついたドアのベルを鳴らしました。

事務所のなかにはコンピュータ、電話、たくさん印刷物や書類の中に、チョット恐そうな男の人が一人、私が名前を告げると「井上です。よろしく」と言っただけで、面接テストもなく早速仕事に取り掛かりました。

最初のうち私の仕事は、チラシの発送、封筒の宛名書きなどでした。ファックス、メール、電話などで次々に寄せられる依頼に合わせて、チラシを数え、少数のものは封筒で、少し多目のものはEXPAACK、大量のものは宅急便にしました。

そして次に、送金されてきた振込用紙のチェック。せっかく賛同金を送って下さっても、新聞にお名前を掲載することの可否の記入がされてなかったり、お名前の読み方がわから

なかったりという場合、コンピュータに入力できないので、電話で問い合わせたりしなければなりません。電話口で「市民意見広告運動の者です」とすつと言えなかつたり、早い時期に送金して下さった方の中には賛同して下さったことすらお忘れになっている方などいらして何度か説明しなくてはならなかつたりと、とまどうことばかりでした。週一回のお手伝いの他に、「最後のお願い」などいろいろな文書の発送もありました。そんな時は嬉しかったです。皆さん自分の作業の進み具合や都合に合わせて来ていましたので、普

「九条実現」意見広告運動に参加して

乾 喜美子

段あまりお会いできませんでしたから。

元銀行にお勤めだったNさん、チラシを数えるのが超上手。パソコンのエキスパートのHさん、大連から引き揚げてらしたというAさん、映画好きのKさん、片付けが得意のSさん。Sさんの来た次の日に行くと、いつの間にか机の上の文房具等がきちんと整理されていてビックリでした。もっと驚いたのは千葉、神奈川、あきる野市などから数時間かけてきていた方たちがいたことです。皆さんひとすらすら運動の成功を願って作業していました。また反戦のために毎週土曜日、新宿駅西口に

立つてらっしゃるといふ女性たちにもお目にかかって、皆さんの情熱とパワーに圧倒されました。

私は憲法の細部、有事法等々むずかしいことはわかりませんが、とにかく戦争は反対です。ですから戦争をしないと誓った九条の改悪には反対したいとこの運動に参加したわけです。

少しでも賛同者を増やせたらと知り合いにチラシを送りましたが、中には、現に自衛隊は存在するのだし、自分の国は自分で守るべき、今の憲法はアメリカからの押しつけだから等々と言う方たちもいます。不勉強な私にはきちんと反論することができませんでしたが、お手伝いをしている間に、色川大吉先生のお話をうかがったり、「市民の意見30の会・東京」のニュースを読んだりしているうちに学びました。

また作業の合間に、「日の丸・君が代」の話なども出ました。私は子ども頃から入学式、卒業式などで「日の丸」が掲げられ、「君が代」を斉唱してきて、それが当然と思っていましたので、なぜ皆がそんなに反対するのかわかりませんでしたけれど、皆さんのお話をうかがっているうちに反対の理由が理解できました。

この運動を通じてたくさんの方々が真剣に平和のために活動していることを知りました。ほんの少しですがお手伝いができて本当によかったです。

(いぬい・きみこ)